

クリニカルラダー・マネジメントラダー(日本看護協会版)の活用

ご自身のレベルや、研修により到達を目指す能力等を参考に研修を選択することをお勧めします。

研修選択の流れ

STEP 1 : 受講動機・学習したい内容の明確化

↓

STEP 2 : 教育計画年間一覧表 (P. 6・7) で枠組み・項目・分類・研修を選択して
ラダーを確認

↓

STEP 3 : 教育計画研修内容一覧 (P. 8~P. 20) で研修内容を確認

↓

STEP 4 : 受講する研修を決定

選択するラダー	レベル	研修により到達を目指す能力 ・ 研修受講に適した能力
助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー) (CLoCMiP®)	新人	1. 指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる
	I	1. 健康生活支援の援助のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる 2. 院内助産・助産師外来について、その業務内容を理解できる 3. ハイリスク事例についての 病態と対処が理解できる
	II	1. 助産過程を踏まえ個別的なケアができる 2. 支援を受けながら、助産師外来においてケアができる 3. 先輩助産師とともに、院内助産においてケアができる 4. ローリスク/ハイリスクの判別および初期介入ができる
	III	1. 入院期間を通して、責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアができる 2. 助産師外来において、個別性を考慮し、自律したケアができる 3. 助産師外来において、指導的な役割ができる 4. 院内助産において、自律してケアができる 5. ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる
	IV	1. 創造的な助産ケアができる 2. 助産師外来において、指導的な役割ができる 3. 院内助産において、指導的な役割ができる 4. ローリスク/ハイリスク事例において、スタッフに対して教育的なかかわりができる
看護師のクリニカルラダー (日本看護協会版) (JNA ラダー)	I	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
	II	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
	III	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
	IV	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
	V	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し QOL を高めるための看護を実践する
病院看護管理者の マネジメントラダー (日本看護協会版)	I	自部署の看護管理者とともに看護管理を実践できる
	II	自部署の看護管理を実践できる
	III	トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる
	IV	病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げた看護管理を実践できる